

• 43: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 私から大きく3点質疑をさせていただきます。分科会長、質問によっては分科会範囲内で局を超えて質問させていただきますので、御対応のほどよろしくお願ひいたします。

まず、大きく1点目、決算年度における広報費についてお伺ひしたいと思います。

決算年度における広報費の決算費用と概要についてお伺ひいたします。

• 44: ○広報課長

検索語: なし

○広報課長 令和元年度の広報費の決算額でございますが、約3億1397万円でございます。その主な内訳でございますけれども、市政だよりに関する費用が約2億120万円、新聞広告等に関する費用が約3084万円、ホームページの保守運用等に関する費用が約1419万円、市政ラジオ番組放送に関する費用が約1170万円、県政だよりや仙台市の水道の配布事務受託分として約4005万円となっております。

• 45: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 3億円ということで内訳も示していただきました。市政だよりなども調べてみると、年々増額しているということでございました。

その中で一つ示していただきました市政ラジオ番組放送、ここについて決算額をお示しいた

だきましたが、もう少しひもとして、どういう放送局で放送されているかとか、時間帯がどのようになっているのかということの説明をいただければと思います。

• 46: ○広報課長

検索語: なし

○広報課長 具体的な番組でございます。東北放送では仙台市民だよりとして毎週土曜日の午前10時35分から5分間放送しております。また、Date fmではジョイフルSENDAIとして毎週月曜日から金曜日まで午前9時45分から5分間の放送、最後にコミュニティーFMでございます。ラジオ3、エフエムたいはく、fmいずみ、Rakuten.FM T OHOKUにおきましては、毎週月曜日から金曜日まで午前10時30分から40秒程度、せんだいラジオ通信として4局同時ネット放送をしております。いずれの番組におきましても、本市の事業の内容やお知らせなどをお伝えしているものでございまして、これらの番組に係る決算額は先ほど申し上げた約1170万円でございます。

• 47: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 ラジオ番組3放送局で時間帯もそれなりの、ラジオでいうとゴールデンタイムになるのかもしれませんが、実はここの部分が、こういうことをやっているということを知られていないのではないのかと思っておりまして、広報の広報になってしまうのかもしれませんが、その辺しっかりしていただくことを求めておきたいと思います。

実際、ラジオ番組ということであれば、内訳の項目の中に視覚障害者向けの広報ということ

で、音声の広報ということ、また私自身も視覚障害者当事者等の交流もありまして、こういった方たちにこそ、こういうラジオ番組をやっているよということを適切に、ピンポイントで伝えるべきだというふうに考えるわけですが、関係団体との連携はどのようになっているのかを確認させていただきます。

• 48: ○広報課長

検索語: なし

○広報課長 市政ラジオ番組放送につきましては、市政だよりですとか、市ホームページを通じまして周知を図っているところでございますけれども、市政モニターへのアンケート結果によりますと、お聞きになられたことのない方もいらっしゃるものと認識いたしております。

また、委員御紹介いただきましたとおり、視覚障害のある方に市政の必要な情報をお届けできますよう、別途予算を確保した上で、点字版の市政だよりでございますとか、音声による声の広報、市ホームページの読み上げソフトなどといった取組も進めてきたところでございます。

御指摘のように、市政情報をお伝えするラジオ番組につきましても、視覚障害のある方に向けては、非常に有効な、非常に重要な広報ツールであると考えますことから、関係団体の御協力もいただきながら、今後さらなる周知に努めてまいりたいと考えております。

• 49: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 広報ツールに関しましては、様々な媒体を活用しながら、適時適切に発信をしていただくことをお願いしたいと思います。

そこで、もう一つ広報ツールとして、本市が広報課で活用しているSNSですね。フェイスブック、これは平成30年度予算等審査特別委員会でも、いいね数とか、フォロワー数とかも確認させていただきました。きょうもこの委員会に入る前にいいね数やフォロワー数を確認してきました。現状を踏まえ、当時からの増加数などを含め、御所見をいただければと思います。

• 50: ○広報課長

検索語: なし

○広報課長 広報課フェイスブックにつきましては、平成30年2月の時点ではフォロワー数約1万4000人でございまして、いいねの数は1万3000でございました。現時点でのフォロワー数でございしますが、1万7000人であり、1万5800以上のいいねをいただいている状況にございます。

• 51: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 フォロワー数1万7000人ということと、いいねが1万5000ということで、平成30年のときにはフォロワー数が1万4000人、いいね数が1万3000と、2000人とか、3000人増えているというところがございますけれども、まだまだ増やす余地があるのかなと。しかも、ここに係る決算年度を伺ったところ、費用は5万円程度だとい

うことでございます。いわゆる費用対効果というのは抜群だというふうに思っております。いいね数やフォロワー数を増やす策としては、やはりその媒体を高めるということも含め、しっかりとした形でやっていただきたいというふうに思っております。過去にはどうしても町情報とかばかりを発信していたのですが、こういったところでも市民健診の案内なんかも発信してくださいということで、時に求めさせていただき、それも対応していただいておりますので、ここについてはまだまだ増やしていくべきだというふうに思いますので、その辺の対応についてどのようになっているのか確認させていただきます。

• 52: ○広報課長

検索語: なし

○広報課長 広報課フェイスブックでございますが、平日は毎日写真の画像とともに記事を投稿しております。本市の魅力ですとか、市政情報につきまして発信いたしているところがございます。フォロワー数でございますとか、いいねの数につきましては、着実に伸びているところではございますけれども、より関心を持っていただける記事となりますよう、引き続きタイムリーな話題を投稿いたしますとともに、興味を引くタイトルでございますとか、写真の工夫を図ってまいりたいと存じます。

• 53: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 この委員会に入る前に確認していたら、今年は何が一番いいね数が多いのかなと思ったら、このコロナ禍だったので、新緑を写した写真が500を超えるというような

中身になっておりました。何が市民に響くかというのは、当然いろいろあるかと思いますが、とにかくいいね数を増やす対応をぜひにお願いしたいと思います。

続いて、広報媒体として、最近では市内各地にある大型ビジョンを活用した条例の周知だったり、新型コロナウイルス感染症対策の予防だったりということを周知啓発しているという認識でございますが、事前に伺ったところ、6事業者あって、どの事業者も御厚意でやっていたというところでございました。ここについての経緯などをお話ししていただければありがたいと思います。

• 54: ○広報課長

検索語: なし

○広報課長 本年4月下旬でございますが、大型ビジョンを設置しておられます事業者の方から、新型コロナウイルス感染症対策について無償で動画を放映してもよいという大変ありがたいお申出、お話がございました。この時期は宮城県と河北新報社と私どもと共同で新型コロナウイルス感染拡大防止緊急キャンペーンといたしまして、新聞広告による周知を行ってまいりましたことから、このキャンペーンの図案を活用いたしました動画を至急作成いたしまして、5月1日から大型ビジョンで放映いただいたというものでございます。その後、7月に感染拡大防止に対する意識をさらに高めていただくため、伊達武将隊とのコラボレーションによるせんだい生活スタイルのPR動画を作成し、本市の公式動画チャンネルに掲載したところでございます。その際、30秒の短いバージョンの動画も作成いたしましたことから、他の事業者にも御協力をお願いいたしましたところ、既に御協力いただいております事業者様を加え、計

6か所の大型ビジョンで放映を御厚意で行うことができたというものでございます。

• 55: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　御協力をしていただいた事業者には、本当に改めて私もこの場を借りて事業者に謝意をお伝えしたいなど、先ほどの委員ではありませんが、施されたら返し返す、恩返しだという気持ちをしっかり伝えたいと思います。

先ほどのSNS同様に、いわゆる安価でまた費用がかからず発信をしていただいております。広報の仕方は、一定ではないと思いますので、様々な機会、チャンスを捉えながら、広く発信していただきたいと思いますので、担当局の局長としての御所見をお伺いしたいというふうに思います。

• 56: ○総務局長

検索語: なし

○総務局長　今御指摘もいただきましたように、まさに限られた予算の中で、ビジョンにつきましては、私も道すがら見ておりますけれども、本当にありがたいなど。このコロナ禍の中におきましても、そういった市民の皆様、事業者の皆様からの御協力によって、無償で提供していただいております。本当にありがたいと考えております。

それから、いろいろな生活様式が変わる中で、当然こちら側の内容の充実というのはもとよりなのでございますけれども、やはり従来の広報に加えて、今までの御指摘もいただいたSNSなど新しい手法といいますか、動画なども含めまして、そういったものをミックスして、

いろいろな場面、場面でどれが有効かということもしっかりと判断しながら、やっていかなければならないと考えております。

また、限られた予算の中で、ラジオ番組も行っているのですが、確かになかなか聞いていただけない。いろんなアンケートを取りますと、聞いていただけないというふうなお声もある程度把握しております。こちらも工夫しながら、より内容の充実とともに、聞いていただけるように発信してまいりたいですし、いろいろとその障害をお持ちの方、あとは団体ともいろいろ連携を取りながら、こういった手法を取ったほうが、よりお伝えしやすくなるのかと。そういったことも研究しながら対応してまいりたいと考えております。

• 57: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　本当に大型ビジョンを活用してということであれば、増えている国分町エリアでの感染者も、昨日はそのエリアに対してPCR検査を行うということでありました。一つは国分町の入り口のビジョンを活用しておりますので、そういった方たちは、そういったところはやっぱり目を通して見ておりますので、総務局所管でありますけれども、広くそういった媒体を通してやっていくことを連携を取っていただければと思います。

この項目については以上とさせていただきます、走る広告塔ということの観点で、私から仙台版図柄入りナンバープレートについてお伺いしたいと思います。

この質疑に対しましては、昨年先輩議員がこの場所でも質疑をしておりますので、昨年の経過を含め、しっかりともう一度確認していきたいと思っております。決算年度におけるこの事

業の概要と予算の内訳についてお伺いいたします。

• 58: ○政策調整課長

検索語: なし

○政策調整課長 令和元年度の決算額248万3000円、こちらの内訳でございますけれども、まずラッピングバスの広告掲出料に約147万円、またチラシ、ポスターの作成、配布に約69万円、地下鉄車両内への広告掲出に約24万円、その他広報経費として約8万円となっております。いずれも図柄入りナンバープレートの普及促進のための経費となっております。

• 59: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 240万円何がしの経費はほとんど広報ということでございました。やっぱりさっきの質問とつながってきておりまして、そういったところも広報課としっかり連携を取りながら、安価で適切な広報になるようにしていただければと思っております。

この図柄入りナンバープレート導入時、日本一を目指すということでスタートした事業だと認識しております。昨年の質疑の数字で言いますと、全国41の導入地域で、交付申込み件数は5,848件の全国3位という状況でございました。1年が経過して、その後どのようになったのかをお伺いいたします。

• 60: ○政策調整課長

検索語: なし

○政策調整課長 先月8月末時点での交付申込み件数は7,868件となっております。全国の導入地域、昨年の時点では41地域でございましたけれども、今年度新たに17地域が追加されまして58地域となっております。このうち、上位から申し上げますと、まず熊本ナンバー、次に広島県の福山ナンバー、そして愛媛ナンバー、奈良ナンバー、これらに次いで仙台ナンバーにつきましては、全国第5位という状況でございます。

• 61: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 第二弾で申し込んでいただいた方たちで17エリアが増え、58エリアになったということでございます。率直にこれ通告しておりませんが、局を超えて確認したいと思いますので、昨日質疑させていただいた健康福祉局長、この5位、どう思いますか。御所見を伺いたいと思います。

• 62: ○健康福祉局長

検索語: なし

○健康福祉局長 既に導入されている58の地域の中での5位ということで、多くの市民の皆様にご利用いただけているのだろうと。ただ、その5位ということは、まだ上に伸び代があるといいたいでしょうか、そういったこともありましようから、引き続き市民の皆様への御利用を啓発していくということになるのだろうと思います。

• 63: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 志の高い御答弁で、本当に私も全くもって同じでして、逆に言うと四つ自治体を抜くチャンスがあるのだなと思っております。ただ、熊本がずば抜けているのですよね、これ。ダブルスコア以上なので。何とかこの順位を上げたいと思うのですけれども、どうしても私自身、元職が車、ディーラーの営業マンだったので、当時遡ってみると、仙台ナンバーを導入したときには結構依頼があったんですよ。結構な手間なのですけれども、意識の高い人たちは結構早めにやっていただけるのだと思います。去年から今年の推移を見ると、2,000件ちょっとしか伸びていない状況でございます。あと、当時の先輩議員も確認しておりますが、まずいち早く公用車には着手すべきだということで、今公用車については、ほぼほぼ図柄入りナンバープレートになっているということでございます。

ただ、今、ではどうしたほうがいいのかということで、当時車のセールスマンをやっていた、やはり車を買換えたタイミングというのは、一番訴求しやすいと思うのですよ。なので、関係団体と意見交換を行っているということでございますけれども、もう一步踏み込んだお願いをすべきなのかなと思っております。たまたま私自身の車の点検で、ディーラーの営業マンから私に電話がかかってきて、営業マンが後輩だったので、これを進めたいんだけど、ちゃんと進めているのかと言うと、いやという話だったから、いやじゃないよということはおっしゃっていただきましたけれども、ぜひに関係団体としっかりとこの情報交換をしていただくようお願いを求めるわけではございますが、いかがでしょうか。

• 64: ○政策調整課長

検索語: なし

○政策調整課長 図柄入りナンバープレートの普及促進を進めます上では、委員御指摘のとおり、自動車の購入のタイミングでのPRというのが非常に重要かと考えてございます。その上でも自動車販売店の皆様方の御協力というものは、非常に欠かせないものと考えるところでございます。

本市におきましては、図柄入りナンバープレートの普及促進を目的といたしました協議会を設立いたしております、この中には日本自動車販売協会連合会様をはじめといたします各種自動車関係団体の方々にも御参画をいただいているところでございます。

こうした各団体に加盟している自動車販売店様などには、例えばナンバープレートの実物大のレプリカですとかチラシ、そういったPRグッズを配付いたしてございまして、普及に多大なる御協力を頂戴しているところでございます。

今後こうしたPRグッズのさらなる活用方法を含めまして、協議会皆様の御意見を伺いながら、販売店様におけます一層の御協力を得られますよう努めてまいりたいと存じます。

• 65: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 ぜひ増えるようにお取組を強化していただくことを求めたいと思います。

あと、ここの図柄入りナンバープレートの一つの特色として、寄附金をいただけるということでございます。いただいた補助金とかも制限があつて、なかなか使いづらい補助金ということでもありますけれども、この使途、積立てもできるということでございますが、今現在どのぐらいの金額がたまっていて、どのように活用していくかということを確認させていただきま

す。

• 66: ○政策調整課長

検索語: なし

○政策調整課長 寄附金につきましては、これを管理する日本デザインナンバー財団という団体から、助成金という形で各地域に配分されることとなっております。本市における今年度までの助成金として活用可能額、その累計は295万円余となっております。制度上、この助成金の対象となります事業については、昨年度までは例えば公共交通のバリアフリー化ですとか、次世代自動車の普及事業など、相当に限定的な状況にございました。このため、そもそもの制度目的でもございます観光振興などにも活用できるよう、対象の拡大を国や財団に申し入れてまいりました。その結果、今年度より対象事業がまちづくりや観光関連事業などにも拡大されたところでございます。

こうした状況を受けまして、今後本市における具体的な用途の選定につきましては、制度の趣旨を踏まえた有効な活用となりますよう、また積立金額の状況も踏まえながら、関係団体の皆様と協議を進めてまいりたいと考えてございます。

• 67: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 観光まで用途が広がったということでございます。新型コロナウイルスで大変な状況である観光業界を救う一助にもなるのかなと思いますので適切に、求めたいと思います。

この図柄入りナンバープレートについての、日本一を目指すという決意、私は高く評価しておりますので、それをつかみ取るための、改めての決意を局長からお伺いしたいと思います。

• 68: ○まちづくり政策局長

検索語: なし

○まちづくり政策局長 図柄入りナンバープレートでございますけれども、走る広告塔としても効果がございますし、市民の皆様の一体感の醸成といった、地域振興といった側面もございます。このような趣旨を考えれば、やはりさらに普及促進に向けた取組が必要だと思っております。順位につきましては、くまモンをはじめとして、苦戦している部分もございまして、今後とも自動車販売協会連合様をはじめ、関係団体の皆様と御協力もいただきまして、目標は高く日本一を目指して引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

• 69: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 続いて、二輪車の、このナンバープレートは、実は自治体で決められる、自由度が高いということで、先輩議員もこれについて、早期に導入を求めるべきだと。全国では3桁を超える自治体が導入しております。この辺の経過を含め、当時の答弁では、導入に向けて検討するということでしたが、1年が経過してどのようになっているのかを確認させていただきます。

• 70: ○市民税企画課長

検索語: なし

○市民税企画課長 昨年より他都市の原動機付自転車の図柄入りナンバープレートの導入状況を調査しました結果、その導入の目的は観光振興、地域振興、市政イベントのPR、地元プロスポーツチームの応援などでございました。そこで、税部門に限らず、庁内において幅広く活用の意向を確認しましたところ、地元プロスポーツに係る活用の提案がありましたことから、担当部署である文化観光局と連携しまして、導入に向けて検討を進めているところでございます。

• 71: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 導入に向けての検討は昨年もここで、その後の総務財政委員会でもそういう答弁をさせていただいておりますので、ぜひ早急にしていただければという思いでございます。

また、ここでそのデザインについてなのですけれども、先ほどの図柄入りナンバープレートですと、一度決めてしまってもう変更はなかなか難しいということでございます。二輪車については自由度があるということで、ここについてはデザインをどのように考えているのかということを確認させていただきたいと思います。

• 72: ○市民税企画課長

検索語: なし

○市民税企画課長 デザインにつきましては、地元プロスポーツチームのPRということを考えておりますので、それに係る図柄ということで検討を進めてまいりたいと考えております。

• 73: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 地元プロスポーツを別に否定するわけではなく、私もいいと思うのですが、ここも残念ながら前例主義というか、先ほどの図柄入りナンバープレートの2位が福山市だったと思うのですが、要はカーブを対象としたデザインになっていて人気が出ているということでございます。仙台市ならではということであれば、私は実はアニメのコンテンツを活用して導入すべきではないのかと思います。例えば本市でありますとジョジョ、またハイキュー!!などがあります。図柄入りマンホールなども非常に人気を博しているということでございます。そこには著作権や、また逆に人気があり過ぎて、盗難のという課題もあるかと思いますが、ぜひにそういったところをクリアしてやっていただきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。確認させていただきます。

• 74: ○市民税企画課長

検索語: なし

○市民税企画課長 原動機付自転車の図柄入りナンバープレートを導入するに当たりまして、本市ならではのオリジナリティーのある魅力的なデザインにするということは、注目を集めるという点で重要であると考えております。本市にゆかりのあるアニメキャラクターの図柄

を用いることは、PRとして効果的な提案であると考えておりますけれども、その場合には委員からも御指摘がありましたように、著作権者の承諾やデザイン料、使用料等の課題があると認識しているところでございます。そうした点も踏まえながら、導入に向けた検討をさらに進めてまいりたいと考えております。

• 75: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 デザイン含め、導入に向けて早急に求めるものでございます。ぜひより詳しくお願いいたします。

続いて、テーマを変えまして、先ほども委員からありましたので、通告していたものを少し割愛して質疑をさせていただきます。

やはり昨年度の決算年度の議論ということで、災害時の大雨災害のところの議論は、もう一度しっかりと検証しなければいけないという思いであります。先ほどの総合的な分析とかということも、先ほどの委員が質問しておりますので、一気に飛んで、2020年防災ハザードマップが地域に配られているわけであります。大雨時に校舎等の2階へ避難が必要な場所がありますが、この示されている指定避難所にとっては、地震時、先ほどもありましたけど、大雨時は体育館などは使用ができない状況であります。示されている場所は2階以上なので、この辺の取組を地域にしっかりと周知する必要があると思っております。新型コロナウイルスで合同防災訓練ができない状況ではありますが、我々の地域はせめて会議だけは継続してやっていきましようという中で、避難所運営委員会編成名簿というものを作成しております、どうしても今までだと地震が対応になった名簿になっておりました。ここについては、地震と大雨、両方の

部分での対応をつくるべきだと考えますが、御当局の御所見を確認させていただきます。

• 76: ○危機管理室参事兼防災計画課長

検索語: なし

○危機管理室参事兼防災計画課長 避難所運営を行う上で、地域の災害リスクや住民の皆様
の状況などを考慮することは重要であると考えております。大雨時と地震発生時とで対応が大
きく異なる避難所につきましては、あらかじめ避難所運営委員会の編成名簿を分けて用意して
いただくことは、スムーズな避難所運営に有効であると考えております。

• 77: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 当然有効であるということで、我々もそういった形をつくろうと今鋭意頑
張っておりますので、いろいろ知恵を、御助言を求めたときには、速やかに御協力いただけ
ると、なおありがたいと思います。

続いてであります、河川に隣接している町内でございます。河川に隣接している町内は、
多分同じような思い、地震時と大雨時というのが一番分かりやすいと思います。逆に、河川に
隣接していない場合は、実際に東日本大震災を経験して、考え方としては短期での避難所運
営、中期での避難所運営、長期での避難所運営というその編成マニュアルみたいなものをつ
くるべきではないのかなと思いますので、現在そういうひな形があるのかなのか、なければ、そ
ういうものをつくるべきだと思いますが、いかがでしょうか。御所見をお伺いいたします。

• 78: ○危機管理室参事兼防災計画課長

検索語: なし

○危機管理室参事兼防災計画課長 避難所運営において、時間の経過に応じて活動内容が変化いたします。本市の避難所運営マニュアル活動編に示しておりますので、御活用いただきたいと考えております。また、地域から御要望があれば、こちらから出向いての説明会等もいたしております。

• 79: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 ぜひそういったものをつくる動きを早急に進めていただいたほうがいいのかなと思いますので、よろしく願いいたします。

続いて、備蓄保管の考え方についてなのですが、備蓄の保管も今は分散保管がいいんですよ。一つの部屋に水を何十本も置くのではなく、各部屋に二、三本置いてくださいねという周知の仕方をしなければいけないと思います。

残念ながら、防災タウンページから始まり、そういったところに記載がないんですよ。別の場所、ホームページとかには記載がありますがけれども、そういったところをこの防災タウンページじゃないかな。防災ハザードマップが非常に市民に理解が広がってきているので、紙面スペースをそんなに多く取らないので、これは継続して載せるべきだと思いますが、いかがでしょうか。確認させていただきます。

• 80: ○減災推進課長

検索語: なし

○減災推進課長 自助としての備えである分散備蓄の取組につきましては、食料や防災用品などの備蓄品を一つの部屋にまとめて置くのではなく、複数の部屋に分けて置くことで、災害時に一つの部屋が使用できなくなった場合でも、その他の部屋の備蓄品が利用できることから、リーフレットや本市ホームページにて市民の皆様宛てに周知しているところでございます。

今後につきましては、御提案の防災冊子への掲載等も含め、様々な周知方法を検討いたしまして、市民の皆様宛て、一層の周知を図ってまいりたいと存じます。

• 81: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 ぜひお願いしたいと思います。

続いて、また我が地域のエリアになるのですが、これも昨年度本会議場でも大変質疑がありましたので、市立病院の水害対応ということで、止水板を設置して対応しているという認識でございます。その辺の整備状況がいかがになっているのかというところと、万が一そこを通過している方たち、そして地域の方々が難を逃れるために病院に訪ねた場合、どのような対応をするのかということを確認させていただきます。

• 82: ○病院事業管理者

検索語: なし

○病院事業管理者 当院の浸水対策改修工事につきましては、本年9月末を目途に地下スロップへの漏水板の設置工事が終了し、その建物南西部にコンクリート擁壁の設置工事などを行

い、来年2月には全ての工事を完了する予定でございます。なお、この間の台風等に備え、大型の土のうも準備し、対応に当たることとしております。また、広瀬川が越水し、当院に地域の方々などが避難された場合には、一旦当院の2階待合室など安全な場所に待機していただき、周囲の水が引いたことなどが確認された後で、近隣の避難所等にとお話しすることとしております。

東日本大震災の際にも近隣から避難された方々に、状況が落ち着くまで院内にとどまっていたいただいた経緯もあり、患者の安全はもちろん、地域の方々が無事避難された場合についても万全を期していきたいと考えております。

• 83: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 病院に従事される職員の皆さんには、新型コロナウイルスの中で大変な状況の中、万が一来た際にもそのように対応していただけるということで、厚く感謝を申し上げます。

続いて、避難所というところで、福祉避難所について確認させていただきます。

今定例会でも機能強化ということで補正予算もついておりますが、実は消耗品での強化ということは福祉避難所のニーズを考えるといささか弱いのではないかなと思っております。もっと抜本的な機能強化を図るべきだと。一つの提案として、前回の臨時会で交通局がバスや地下鉄に光触媒のコーティングをしております。そういった対応を福祉避難所にはすべきだと思いますけれども、その辺の御認識についてはいかがでしょうか。確認させていただきます。

• 84: ○健康福祉局長

検索語: なし

○健康福祉局長　　今般、福祉避難所となる施設に対しても、必要となる消耗品等について配付いたしたいと考えているところでございますけれども、光触媒のコーティングということになりますと、福祉避難所として本市が協定している施設が現在121か所ございます。また、コーティングをすとした場合に、その時点での施設の状況によりまして、福祉避難所として使用させていただくスペースにも様々変わってくる部分があるということで、コーティングの範囲をどうしていくかというときに、ある意味広範囲にわたってコーティングが必要ということにもなることもあろうかと思っております。

また、コロナ禍の現在、新型コロナウイルスへの光触媒コーティングの効果について、必ずしも確認されないということもございまして、福祉避難所への光触媒コーティングについてはある意味費用対効果という観点からも検討が必要なものと考えております。

一方で、施設の感染症対策というのはしっかりと取っていかねばならないと思っております。まして、アルコール手指消毒剤などの衛生用品の提供でありますとか、それから施設内のゾーニングなど感染拡大を防ぐための研修でありますとか、そのような支援にも取り組みながら、福祉避難所の中での感染防止に努めてまいりたいと存じます。

• 85: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　新型コロナウイルスに効くか、効かないかという議論は、臨時会で、私常任委員会でさんざんやったので、この場ではやりませんが、この話をいただいた事業者は一

番最初、交通局というよりは避難所だったり、そういった体育館だったりにやりたいと。今日新型コロナウイルス感染症対策調整担当局長が来ていますけど、私一番最初に相談させていただいて、事業者は幅広く地元で貢献できるのであれば、寄附してでもやりたいという声が上がっております。また繰り返しになって申し訳ないですけど、そういった事業者もいますので、費用対効果も当然大事な話なんですけど、そういった御厚意、またそういったところをお願いをするということも行政の役割としてあるのかなと認識しますので、ぜひ、私にその事業者を紹介しろということであれば、健康福祉局長、紹介しますので、よろしくお願ひいたします。

続いてですが、避難所の具体的な課題について、決算年度、会派要望もさせていただきましたが、災害時の電源確保というのは必要不可欠だと思っております。現状、LPG発電機を避難所に3台、補助避難所に2台となっておりますが、その使用用途はどのようになっているのかを確認させていただきます。

• 86: ○危機管理室参事兼防災計画課長

検索語: なし

○危機管理室参事兼防災計画課長 指定避難所にはカセットガス式の発電機を3台ずつ、補助避難所には2台ずつ配備しておりますが、主な用途といたしましては、LED投光機を用いた避難場所の照明や、屋外の暗くて足場が悪いところなどの照明、また新型コロナウイルス感染症対策として扇風機による換気、そのほか携帯電話、スマートフォンの充電などにも御利用いただくことを想定しております。

• 87: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　そういった仕様で想定しているということでございますが、会派要望で設置の要望をした趣旨としては、災害場所、避難場所での携帯電話の役割というのは重要だというふうな思いで、携帯電話を充電するための発電機を設置すべきだと思っております。なかなか財政的に厳しいということでございまして、うちの町内会は町内会費で最初から新年度、今年予算計上して発電機を間もなく買います。そういった町内会も、多分これから出てくるのかなと思います。うちの町内会は補助をくださいと言いませんから、次に買う町内会が現れましたら、ぜひ補助をしていただければありがたいと思いますが、いかがでしょうか。御所見をお伺いいたします。

• 88: ○危機管理室参事兼防災計画課長

検索語: なし

○危機管理室参事兼防災計画課長　　今ほど申し上げましたとおり、指定避難所にも補助避難所にも発電機を配備しておりまして、LED投光機や扇風機に使用しても電源に余裕がございしますので、携帯電話、スマートフォンの充電にも御活用いただければと思います。

• 89: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　スマートフォンにも使えるということでございますので、なかなか当時、東日本大震災などの記憶だと、やはりいち早く、私も、私もみたいなことになっていて、1台専門で置いておく必要があるのではないかという趣旨でございます。いろいろ兼用にしてし

まうと非常に難しいので、ぜひそういった対応をしていただくことが、防災都市を宣言している仙台市ならではの取組なのかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、災害はいつ来るか分からないというのも、この言葉が適切かどうか分かりませんが、もう古い言葉になってしまっているのかもしれませんが、必ず来る災害のために備えることが非常に重要でございます。

昨日も新総裁が誕生し、総裁の言葉の中で、自助、共助、公助、そして絆というキャッチフレーズを掲げて総理になられました。非常に喜ばしいことでございますけれども、そういった思い、我々防災都市宣言をしている中で強い仙台をつくっていくんだと。地震でも、雨でも、どんな災害が来ても大丈夫なんだという対応をしていく、そして地域の力をお借りするというお願いを含め、担当管理者から御所見をお伺いしたいと思います。

● 90: ○危機管理監

検索語: なし

○危機管理監 私どもは東日本大震災という未曾有の災害で行政のみによる完全な防災には限界があることを痛感いたしました。それと同時に、市民一人一人の備えや地域をはじめとする様々な団体などの取組が、減災への大きな力となったことも知りました。このため、これまで行政や関係機関のみを対象としてきました本市の地域防災計画を全面的に見直し、市民や地域団体、企業などもその主体として加え、それぞれがその役割を果たし、しっかりと連携することで自助、共助、公助が一体となった防災・減災対策を推進することといたしたものでございます。

一方、昨年度は台風、大雨により3週連続で避難所を開設するなど、近年では大雨等の気象

災害への対応がより重要となっております。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、避難所開設時の感染症対策など新たな課題も出てきております。そうした中、自助、公助、共助に携わるそれぞれの主体が、これまでの経験を生かしながらも、新たな課題に柔軟に対応する力を高めていくことで、よりしなやかで強靱な防災都市の実現に向けて取り組んでまいりたいと存じます。

- 91: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 管理者、ありがとうございます。自助、共助、公助、そして絆という言葉
を大事にしながら、私も対応していきたいというふうに思います。